

# ろっかしよ 議会だより



平成30年4月1日オープンとなった特産品販売所「六旬館」

## 3 月 定 例 会

- ◆3月定例会のあらまし …… 2
- ◆一般質問 (2人の議員が登壇) …… 5
- ◆議案審議 (条例他) …… 8
- ◆委員会レポート (常任委員会) …… 10
- ◆意見書提出 …… 11
- ◆6月定例会開催日程 (トピックス) …… 12



地元産の各種野菜



オープン初日の館内の様子



平成 30 年度 ~第4次六ヶ所村総合振興  
「暮らしにゆとりと安らぎ

144億1,000万円の

各会計総額は約 190 億 5,000 万円

平成 30 年度各会計当初予算の状況

(単位：千円)

会計名	30 年度当初予算	29 年度当初予算	比較
一般会計	14,410,000	14,010,000	400,000
国民健康保険特別会計 (事業勘定)	1,105,900	1,361,015	△ 255,115
後期高齢者医療特別会計	73,900	65,106	8,794
国民健康保険特別会計 (千歳平施設勘定)	111,800	113,105	△ 1,305
介護保険特別会計 (保険事業勘定)	1,077,800	1,067,334	10,466
水道事業会計	677,885	670,009	7,876
農業集落排水事業会計	145,895	155,233	△ 9,338
下水道事業会計	1,414,286	1,423,586	△ 9,300
工業用水道事業会計	32,413	32,818	△ 405
合計	19,049,879	18,898,206	151,673

計画を核に据え～  
を担う予算」

前年度比 0.8%増

一般会計予算を可決 !!

3 月定例会のあらまし

平成 30 年 3 月定例会は、2 月 26 日から 3 月 9 日までの 12 日間の会期で開催されました。26 日の本会議初日は、戸田衛村長が新年度予算を「暮らしにゆとりと安らぎを担う予算」と位置付け、「限られた財源を最大限に生かし、財政基盤の維持と公正で透明性の高い行政運営を基本」としながら、第 4 次六ヶ所村総合振興計画を核とした重点施策についてを説明。本定例会には、30 年度の 9 会計の当初予算をはじめ、29 年度の各会計補正予算、条例の制定および一部改正、公共施設の指定管理者の指定など議案 41 件が上程され、いずれも原案どおり全会一致で可決されました。

8 日に行われた一般質問には、2 人の議員が登壇し、中学校統合と村独自の学級編成、青森県量子科学センターの活用など村の考え方を問いました。

そのほか、「核燃料サイクル事業における事業環境の安定確保及び再処理工場の竣工・操業に向けた効率的且つ迅速な審査を求める意見書の提出に関する請願」については、審議の結果採択。「米の生産費を償う価格下支え制度を求める陳情」他 4 件については、資料配布といたしました。

詳しくは、六ヶ所村 HP (<http://www.rokkasho.jp/>) 内の「六ヶ所村議会」 「会議録閲覧」をご覧ください。



竣工に向けて工事の進む倉内コミュニティーセンター



倉内コミュニティーセンター敷地内の広場

当初予算の内容

予算の規模は、一般会計をはじめとし 4 つの特別会計および 4 つの公営企業会計を合わせて約 190 億 5000 万円となり、前年度に対して約 1 億 5200 万円、0.8% の増となりました。一般会計は、総額 144 億 1000 万円で、前年度に対し 4 億 2000 万円の増となりました。歳入の主なものは、全体の約 56% を占める村税で、総額は約 80 億 7500 万円で、その主なものは、固定資産税の約 69 億 4400 万円となりました。

歳出の主なものは、(仮称)尾駮レイクサイドパーク整備事業費、(仮称)尾駮地区コミュニティセンター整備事業費、(仮称)倉内地区コミュニティセンター整備事業費などを予算化し、第一次産業では、六次産業化活動助成事業費や第一次産業経営支援補助事業費、新規事業として、泊地区漁業者用歩道整備事業費、人工漁礁整備事業費等を予算化し、子育て分野では、昨年引き続き、南こども園整備事業費、また、子宝祝金支給事業は制度改正により支給範囲の拡大等、防災面では、防災資機材庫整備事業費や消防団屯所整備事業費などが予算化されました。

なお、村の 29 年度末の財政状況は、一般会計の各種基金の積立金が約 124 億 3300 万円、特別会計及び公営企業会計を加えた村債残高は約 110 億 1400 万円で、ここ数年は年間約 11 億円前後の償還が見込まれています。



# 重点施策7項目の予算に注目！ 「公正で透明性の高い行政運営を基本とする」 ※NEW!は新規事業



寺下 和光 議員

【問】①中学校統合および千歳平小学校の新築に関する口頭ドマツプは平成30年度中に示すべきだと考えるがどうか？  
②小学校1・2年生は20、25人学級、中学校は20、25人学級に編成する考えはなにか？



【答】①中学校については、10年を目途に1校にし、千歳平小学校についても速やかな建て替えが必要なため平成30年度に課題の抽出や基本的事項の調査に着手していく。  
②少人数教育は有効性が示されており、少人数指導やチームティーチング等も活用し将来的な少人数学級編成も視野に独自の学級編成について

【問】①中学校の統合について、平成28年3月定例会において社会性や規範意識を身に付けさせるため、一定の集約規模を確保する必要があるが、将来的に児童生徒の増加が見込まれる中、保護者の声や就学児童の状況などを踏まえ、

【問】①10年程度を目途に千歳平小学校の新築は速やかにとされているが、平成30年度中に具体的な口頭ドマツプを示すべきと考えるがどうか？  
②平成27年12月定例会の一般質問で、基礎的な教育環境の整備を要するが、

【答】①1点目、中学校の1年以内には、中学校1校の統合は、20、25人学級、2年生は20、25人学級に編成する考えはなにか？

1. 中学校統合及び独自の学級編成について

2. 児童生徒の登下校時の安全確保について

【問】①国道394号について、南こども園が平成31年に開園するが、

2. 児童生徒の登下校時の安全確保について

【問】①10年程度を目途に千歳平小学校の新築は速やかにとされているが、平成30年度中に具体的な口頭ドマツプを示すべきと考えるがどうか？  
②平成27年12月定例会の一般質問で、基礎的な教育環境の整備を要するが、

【答】①1点目、中学校の1年以内には、中学校1校の統合は、20、25人学級、2年生は20、25人学級に編成する考えはなにか？

【問】①10年程度を目途に千歳平小学校の新築は速やかにとされているが、平成30年度中に具体的な口頭ドマツプを示すべきと考えるがどうか？  
②平成27年12月定例会の一般質問で、基礎的な教育環境の整備を要するが、

## 1. 「個性豊かで多様な産業を育てる」

- ①畜産バイオマス技術導入可能性調査事業 (2,000 千円) NEW!  
※畜産の糞尿等の適正処理を推進するため、バイオマス発電等の技術導入の可能性調査を行う。
- ②優良牛生産助成事業 (8,280 千円) NEW!  
※優良な肉用牛、乳用牛を生産するための精子の購入費用を助成する。
- ③水素エネルギー導入可能性調査業務委託事業 (4,711 千円) NEW!  
※「あおりCO<sub>2</sub>フリー水素活用事業構想」と連携したシステム構築に係る調査業務を実施する。

## 2. 「未来を支える人と文化を育てる」

- ①大石総合運動公園改修事業 (8,381 千円) NEW!  
※陸上競技場の老朽化に伴い施設の改修を行う。
- ②病児保育事業 (6,793 千円)  
※乳幼児の病気が回復期にあり、集団保育や家庭育児が困難な場合で適切な処遇が確保される施設において一時的に預かり保育を行う。
- ③南こども園整備事業 (790,786 千円)  
※保育所型認定子ども園を整備し、園児の保育環境、地域住民の生活環境の向上に寄与する。今年度は建築・外構工事を実施する。

## 3. 「共に健康でいきいきした暮らしを創る」

- ①障害者つどいカフェ実施委託事業 (60 千円) NEW!  
※障害者及びその家族が集いコミュニティを形成する場を提供する。(かけはし寮)
- ②在宅酸素療法患者酸素濃縮機器使用助成事業 (374 千円) NEW!  
※在宅酸素療法患者に対する酸素濃縮機器の電気料金を助成する。
- ③各種健康診査委託事業 (53,003 千円)  
※各種がん検診等の集団・個別検診のほか、乳幼児精密検査、妊婦口腔衛生指導等母子健康診査を実施する。
- ④子宝祝金支給事業 (18,400 千円)  
※子育てに対する支援を充実させるため第1子から子宝祝金を支給する。  
(第1子:10万円、第2子:20万円、第3子:30万円)

## 4. 「あらゆる災害に対応して安全を守る」

- ①避難施設用非常用発電設備設置事業 (6,621 千円) NEW!  
※指定避難所に指定されている施設に、非常用発電機を整備するため実施設計を行う。  
(尾駮小学校、第一中学校、大石総合体育館)
- ②LED防犯灯整備事業 (19,500 千円)  
※未整備箇所へLED防犯灯を新設する。  
(泊、平沼、戸鎖、新城平、千歳平、笹崎地区)
- ③尾駮沼護岸整備事業 (22,681 千円) NEW!  
※国道338号尾駮橋から東側の護岸の浸食が著しい箇所の整備を行う。今年度は実施設計。

## 5. 「大切な自然をまもり・育て・伝える」

- ①ごみ収集所設置事業 (2,432 千円) NEW!  
※ごみ収集所デザインコンクールの最優秀賞デザインを採用した既存収集所の更新を行う。
- ②家庭ごみ収集運搬等業務委託 (68,392 千円)  
※村内のごみ収集運搬委託費。
- ③森林環境整備事業 (9,593 千円)  
※出戸地区森林空間公園及び倉内地区環境保全林公園の下刈を行う。

## 6. 「官民協働で持続可能な経営を支える」

- ①地域コミュニティサポートバス整備事業 (38,254 千円) NEW!  
※村内の各種団体が活用可能なコミュニティサポートバスを購入する。
- ②(仮称)尾駮地区コミュニティセンター整備事業 (559,647 千円)  
※尾駮地区の地域活動および避難施設並びに住民サービスの向上に寄与する。今年度は建築・外構工事を行う。
- ③指定管理業務委託事業 (744,149 千円)  
※公の施設の管理・運営に民間事業者が持つ経営ノウハウを有効活用し、経費縮減と住民サービスの向上に寄与する。

## 7. 「出戸地区配水管更新事業」

- ①出戸地区配水管更新事業 (72,739 千円) NEW!  
※老朽化した配水管の更新を行う。
- ②千歳平はるき小公園休憩所整備事業 (18,459 千円) NEW!  
※公園に休憩所を整備し地域交流活動の場を提供する。
- ③村内各浄水場等防犯カメラ設置事業 (4,239 千円) NEW!  
※村内各浄水場・ポンプ場に防犯カメラを設置し、施設の安全を確保する。
- ④(仮称)尾駮レイクサイドパーク整備事業 (404,334 千円)  
※尾駮沼北側周辺の護岸環境整備を行うもので、31年度開設予定。今年度は舗装工事や休憩施設(ベンチ・テーブル)等を整備する。



状態を早期に改善すること、喫緊の課題であるため、次の点について伺いたい。

①内沼から南小学校の国道394号は、南こども園が平成31年度に開園予定であることから、県に申し入れ、歩道整備を早急に行うべきかと考えるか。

②泊小学校専用通学路出入口は、通学路整備が用地取得に至らなかった。再度交渉し、児童の安全確保を図るため早急の整備すること、緊急の課題であるかと考えるか。

③国道338号泊地区は、歩道がない国道沿いに多くの防犯灯が設置されており、満足できる状態ではない。児童生徒の安全確保を図るため、村内の各集落内の防犯灯は、ほぼ整備されていることから、今後、学校周辺の通学路に優先的に防犯灯の設置を早急に行うべきか、どうか。

④R1棟は、PET関連研究等最先端の技術の拠り所として、健康で生き生きとした暮らしを創る政策に活用できるか。六ヶ所村地域医療センターと連携したPETの活用は、村民にとって画期的な事業と考えるか。

①1点目、原子力・放射線専門技術者の育成が図られることによる雇用の促進、放射線利用技術の活用による発電所の高機能化によるPET検査等の最先端医療技術の活用、がん・脳疾患などへの薬剤の開発、高レベル放射性廃液の分離技術の開発による有用金属資源の分離・回収等の様々な研究成果から、他分野への製品工場など新たな地域産業の創出と既存機材の高付加価値化による産業の振興に繋がるものと期待している。

管理者である県に対し、国道394号整備促進期成同盟会による要望活動を始め、村独自の単独事業として、毎年要望を行っている。主要路線や通学路となる道路において安全かつ円滑な交通を確保するため、交通安全施設としての歩道整備は、その必要性を十分に認識しているところであり、今後も様々な機会を捉えて、県に対して早期に着手するよう粘り強く要望して参りたい。

2点目、泊小学校の通学路となる歩道の出入口から諏訪神社前までの約50メートルの区間の安全確保を図るため、歩道整備が必要と考え、整備に向けた必要な基本調査をし、地権者との用地交渉を進めて参りたい。

3点目、国道338号泊地区バイパスの歩道については、通学路であるとともに、近年の健康志向の高まりから夕方以降にウォーキングやジョギングをされている方も見受けられる。歩道の防犯灯に重点的に平成29年度は約500メートルの区間を重点的に整備する方針は、

が、研究はPET用の先進的な診断薬の合成、それを利用した腫瘍や脳疾患等に関する基礎研究と臨床研究を行うものであり、病院等の医療機関で実施されるPET検査は想定しておらず、あくまでも基礎研究および臨床研究に関するものと伺っている。地域家庭医療センターと連携しPET検査を住民に提供するに、検査を住民が身近に感じることが、住民が身近な環境で最先端の検査を受ける事が出来れば、健康づくりを推進する観点から理想的であると考え、今後は研究結果を住民に還元することや最先端の検査や治療が受けられる施設の構築に努めたい。

【問】①所得安定対策等交付金に係る宮城県数と農地の所有者数は？

②平成23年度に暗渠排水事業を53.5町歩実施したが、その後農地の利用状況は？

③耕作地周辺の農道整備の計画は？

④後利用に関する意向調査を実施したが、その結果と今後

間に設置し、平成30年度においても約700メートルの区間に設置することとしている。また、残り約3600メートルの未設置区間についても計画的に設置して参りたい。

【問】①県道「野辺地六ヶ所線」、県道「東北横浜線」の防雪対策の現状をどう把握しているか。また、県に対してどのような対応をとっているか？

【答】①防雪柵は設置されているものの防雪柵を超えて吹き溜りが発生している。冬期間の通行の安全確保のため、より効果のある防雪対策について、県に対して早急に要望していく。

3. 県道「野辺地六ヶ所線」等の防雪対策について

【問】千歳中学校前の十字路から野辺地町方面の約1kmの間に防雪柵が設置されているが、防雪柵が設置されるま

【問】①当該交付金制度を活用している耕作地は、出戸地区6名、泊地区2名、農地所有者は出戸地区6名、泊地区41名である。

②現在、2名の畜産農家で21.3haに飼料作物を耕作している。残りの水田は、圃場環境の変化に伴い、耕作がされていない。

③村では、補助事業の対象とならない耕作地の整備は、地域の要望により舗装整備している。当該地区は耕作者からの要望、宮農協などからもない。

④調査の結果、今後農地として利用したいと考えている所有者は、出戸地区、泊地区ともに低い数値となっており、圃場整備は困難と判断するが、村では、農業委員会等との連携を強化し農地利用の最適化に向け取り組みたい。

の間と次の防雪柵の間で3.5m位の間隔があるため吹き溜まりが発生し、通行止めや交通事故の発生が懸念され、通行を控えたり、回り道をして通勤しなければならぬ状況が多岐にわたります。

緊急車両も通行出来ない状況もあり、地域の方々は命の危険を感じたと考えます。例年になく雪が多かった風が強かった問題ではなく、異常気象によって更にリスクが拡大すると考えるべきである。県道「東北横浜線」の千歳中学校前の十字路から東北町水喰方面は、原子力災害が発生し避難が必要となった際の避難ルートになっていないが、村として、この二つの県道の防雪対策の現状をどのように把握し、県に対してどのような対応を取っているか伺いたい。

【答】六ヶ所管内の国道、県道における防雪対策については、管内を巡回した際に視界不良等、危険を感じる箇所は、県に対し防雪柵等の設置を強く要望している。二つの県道の防雪対策

【問】近年、農業者の経営規模の拡大により農地の安定的な確保が重要となっており、また、作物による輪作体系の確立は高品質の生産確保には欠かせないものとなっている。出戸地区から泊地区の農地面積は約785町歩で、耕作面積は約100町歩、歩余りとなっているが、残農地の復元は地権者、耕作者が協議した中で農地利用できるシステム構築が必要と思われる。地権者の所得安定や、利用する耕作者の生産力向上にもつながると思います。

第1次産業の所得安定のために出戸・泊地区の農地復元対策をどのように考えているか、次の点について伺いたい。

の現状は、防雪柵は設置されているが防雪柵を超えての吹き溜りが発生しており、県では、吹き溜り箇所の除排雪を適宜に行っているところである。当該路線は、吹雪等による視界不良が度々あることから、冬期間の通行の安全確保のため、より効果のある防雪対策について、県に対して早急に要望して参りたい。



高橋 文雄 議員

【問】①村長が期待する六ヶ所村の地域産業の拡大とはどんな事業か？

②青森県量子科学センターにはPET関連研究等最先端の技術研究施設が整備されている。村長の掲げる政策への活用と六ヶ所村地域医療センターと連携しPETの活用は考えていないか？

【答】1点目、平成29年度の当該交付金制度を活用している耕作地は、出戸地区は6名、農地所有者は6名である。泊地区の耕作者は2名、農地所有者は41名となっている。

2点目、村では泊字川原地区の水田を有効利用するため、平成23年度に国庫補助事業を活用し、53.5haの暗渠排水事業を実施し、現在2名の畜産農家で耕作している。残りの水田は、離農等による圃場環境の変化に伴い、耕作がされていない。

3点目、現在の耕作地が碎石敷きであり、耕作者など通行車が少なく、草木が繁茂している現状である。村では、補助事業の対象とならない耕作地を整備は、地域から

【答】①雇用の促進や医療振興につながるかと考えている。

②基礎研究及び臨床研究に関わるものであり、地域家庭医療センターと連携しPET検査を住民に提供する事は難しいが、研究成果の還元や最先端検査・治療が受けられる環境の構築に努めたい。

1. 青森県量子科学センターの活用について

【問】平成29年10月、青森県が量子科学センターを開設した。原子力の安全性向上の取り組みや量子科学技術の最先端の研究について、専門家・有識者の講演等が開催されています。村長は原子力関連施設の安全性向上、地域産業の拡大、新たな産業づくりなどにつなげるよう期待を持っており、来年度以降の点について伺いたい。

①村長が期待する六ヶ所村の地域産業の拡大とはどんな事業か。

②耕作地周辺の農道整備を実施した経緯は、見られないが今後の計画は、

③農業委員会が平成27年から後利用に関する意向調査を実施したが、その結果と結果を受けて今後の方針はどうか。

④4点目、平成27年度から実施した農地利用意向調査で出戸地区の結果は、対象遊休農地が13.97haで回答率が24.3%。泊地区の結果は、対象遊休農地が176.7haで回答率が29.4%であった。今後とも農地として利用する考えの所有者は、出戸地区14.3%、農地面積は22.3ha、泊地区21.1%、農地面積は48.4haと低い数値となっている。図面に反映させると虫食いは状態であり、圃場整備は困難と判断するが、昨年7月に新たに農地利用最適化推進委員会が設置された。農業者が配置した農業委員会が、村では農業委員会や農地中間管理機構およびゆき青森農業協同組合との連携をさらに強化し、農地利用の最適化に向け取り組んで参りたい。



## 条例の制定及び一部改正・指定管理の変更

議案番号	議案名	議決結果	議決日
議案第19号	六ヶ所村コミュニティーセンター条例の制定について	原案可決	3月8日
議案第20号	六ヶ所高等学校通学バス運行事業分担金徴収条例の制定について	原案可決	
議案第21号	六ヶ所村課設置条例の制定について	原案可決	
議案第22号	六ヶ所村認可地縁団体印鑑条例の一部を改正する条例について	原案可決	
議案第23号	公益法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	
議案第24号	特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	
議案第25号	六ヶ所村職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	
議案第26号	六ヶ所村企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	
議案第27号	六ヶ所村災害対策本部条例の一部を改正する条例について	原案可決	
議案第28号	災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	
議案第29号	六ヶ所村国営土地改良事業負担金徴収条例の一部を改正する条例について	原案可決	
議案第30号	六ヶ所村営共同放牧場設置及び管理条例の一部を改正する条例について	原案可決	
議案第31号	六ヶ所村酪農振興センター条例の一部を改正する条例について	原案可決	
議案第32号	六ヶ所村営住宅条例の一部を改正する条例について	原案可決	
議案第33号	六ヶ所村公営住宅管理条例の一部を改正する条例について	原案可決	
議案第34号	六ヶ所村定住促進住宅設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	
議案第35号	六ヶ所村介護保険条例の一部を改正する条例について	原案可決	
議案第36号	六ヶ所村介護老人保健施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	
議案第37号	六ヶ所村国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	原案可決	
議案第38号	六ヶ所村後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	
議案第39号	六ヶ所村立保育所条例の一部を改正する条例について	原案可決	
議案第40号	公の施設の指定管理者の指定の変更について	原案可決	
議案第41号	公の施設の指定管理者の指定について	原案可決	

## 補正予算・当初予算

議案番号	議案名	議決結果	議決日
議案第1号	平成29年度六ヶ所村一般会計補正予算(第6号)	原案可決	3月8日
議案第2号	平成29年度六ヶ所村国民健康保険特別会計補正予算(事業勘定第4号)	原案可決	
議案第3号	平成29年度六ヶ所村後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	原案可決	
議案第4号	平成29年度六ヶ所村国民健康保険特別会計補正予算(千歳平施設勘定第4号)	原案可決	
議案第5号	平成29年度六ヶ所村介護保険特別会計補正予算(保険事業勘定第4号)	原案可決	
議案第6号	平成29年度六ヶ所村水道事業会計補正予算(第4号)	原案可決	
議案第7号	平成29年度六ヶ所村農業集落排水事業会計補正予算(第3号)	原案可決	
議案第8号	平成29年度六ヶ所村下水道事業会計補正予算(第4号)	原案可決	
議案第9号	平成29年度六ヶ所村工業用水道事業会計補正予算(第3号)	原案可決	
議案第10号	平成30年度六ヶ所村一般会計予算	原案可決	
議案第11号	平成30年度六ヶ所村国民健康保険特別会計予算(事業勘定)	原案可決	
議案第12号	平成30年度六ヶ所村後期高齢者医療特別会計予算	原案可決	
議案第13号	平成30年度六ヶ所村国民健康保険特別会計予算(千歳平施設勘定)	原案可決	
議案第14号	平成30年度六ヶ所村介護保険特別会計予算(保険事業勘定)	原案可決	
議案第15号	平成30年度六ヶ所村水道事業会計予算	原案可決	
議案第16号	平成30年度六ヶ所村農業集落排水事業会計予算	原案可決	
議案第17号	平成30年度六ヶ所村下水道事業会計予算	原案可決	
議案第18号	平成30年度六ヶ所村工業用水道事業会計予算	原案可決	



議事の進行をする橋本議長



本会議中の議場の様子

## 『核燃料サイクル政策の確固たる推進と事業環境の安定確保を求める意見書』を提出!!

六ヶ所村商工会をはじめ関係4団体から請願として提出された、「核燃料サイクル政策の確固たる推進と事業環境の安定確保を求める意見書」について、2月28日に総務企画常任委員会で審議し、3月9日議員発議を行い全会一致で採択されました。

採択された意見書は、橋本隆春議長、鳥山義隆副議長、小泉靖美総務企画常任委員長、高橋文雄むつ小川原エネルギー対策特別委員長が、3月27日に大島衆議院議長を訪問し意見書を提出いたしました。

意見書は衆議院議長の他、内閣総理大臣、参議院議長、経済産業大臣、内閣府特命担当大臣原子力防災担当、青森県知事へ提出しました。

### 『核燃料サイクル政策の確固たる推進と事業環境の安定確保を求める意見書』

#### 意見書要望項目の内容

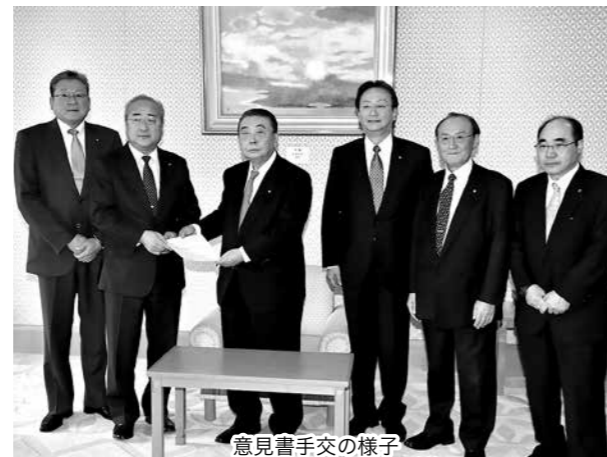
1. エネルギー基本計画の改定に伴い、原子力発電所の再稼働と新增設計画及び核燃料サイクル事業の確固たる推進は、エネルギーの安定供給・経済性・環境適合性を考慮した政策上の観点から最重要課題であるため、具体的な目標設定とブレることのない原子力政策（核燃料サイクル政策）を堅持するよう強く求める。
2. 核燃料サイクル事業の推進には、再処理工場とMOX燃料工場の安定操業が必要不可欠であり、施設の安全性・健全性が速やかに確保され、早期操業の実現と再処理政策上のプルトニウムの需給バランスの観点から、プルスーマル計画の促進や使用済みMOX燃料の処理方針を明確化するよう求める。
3. 原子力規制委員会による効率的な審査の促進を図るため、総合的な監理体制の充実・強化と適正な措置が講じられるよう強く求める。
4. 核燃料サイクル事業における事業環境の安定確保の観点から、政府並びに関係行政機関等が一体となった取組みを推進し、その基盤形成の促進に努め事業に対する積極的な支援を図るよう求める。

### 大島衆議院議長公邸で意見書提出

#### 大島議長公邸訪問

3月27日衆議院議長公邸を訪れ『核燃料サイクル政策の推進などを要望する意見書』を大島理森衆議院議長に提出しました。冒頭橋本議長から意見書の趣旨を説明した後、「原子燃料サイクル施設の操業開始時期の不透明さにより村民の不安感の増大につながっている。立地地域の実情も踏まえ、関係機関に働きかけてほしい」と要望した。

大島議長は、「これまで地元選出国議員として原子燃料サイクル事業の問題に関わりを持ってきた。責任を持って政府に対して意見を申し上げる」と話していました。



意見書手交の様子

3月定例会の会期中に開催された常任委員会の審議内容をお知らせいたします。

#### 総務企画常任委員会

### ■核燃料サイクル事業における事業環境の安定確保及び再処理工場の竣工・操業に向けた効率的且つ迅速な審査を求める意見書の提出に関する請願」を採択！他1件の説明を受け審議

2月28日委員会を開催し付託となった、「核燃料サイクル事業における事業環境の安定確保及び再処理工場の竣工・操業に向けた効率的且つ迅速な審査を求める意見書の提出に関する請願」と報告1件について、説明を受け審議した。

〔請願〕

「核燃料サイクル事業における事業環境の安定確保及び再処理工場の竣工・操業に向けた効率的且つ迅速な審査を求める意見書の提出に関する請願」について  
⇒国策である原子燃料サイクル事業には、地域振

興への寄与を大前提として、苦渋の選択と決断をしながら協力をしてきた。原子燃料サイクル事業の確固たる推進は議会としても切望するもので、本請願の趣旨や内容を強く受け止め、採択とした。

〔説明〕

◆（仮称）尾駸地区コミュニティーセンター整備事業について説明

〔委員の意見〕

◎将来的なことを考慮すると中央公民館の機能を備えるなど施設の建設を工夫すべきではないか。

#### 産業建設常任委員会

### ■平成30年度の主要事業について審議

2月28日委員会を開催し、平成30年度の新規主要事業等について、担当課から説明を受け審議した。

〔説明〕

- ◆農林水産課は、畜産バイオマス技術導入可能性調査事業および優良牛生産助成事業など新規8事業を説明。
- ◆建設課は、室ノ久保地区排水路整備事業および尾駸沼護岸整備事業など新規6事業を説明。
- ◆商工観光課は、新規事業の泊地区イベント広場拡幅事業およびイベント業務委託事業他8事業を説明。
- ◆上下水道課は、新規事業の第二焼山団地線配水

管敷設工事や豊瀬・豊前地区配水管更新事業他4事業を説明。

〔委員の意見〕

- ◎尾駸沼護岸整備事業は、護岸の浸食が激しい箇所を優先することは理解するが、既存整備箇所から東側河口全体の整備計画を検討すべきである。
- ◎商工観光課が行なうイベント業務委託事業には、観光協会が受託した特産品販売施設の指定管理委託料に流用等がないよう会計管理を適正に行なうべきである。

#### 福祉教育常任委員会

### ■「泊第二保育所のその後および子宝祝金」他4件について審議

3月2日委員会を開催し、泊第二保育所のその後および子宝祝金他4件について、担当課から説明を受け審議した。

〔説明〕

- ◆泊第二保育所は、施設の老朽化や入所児童の減少、児童の安全や集団保育の効果が活かされなため、平成30年4月から泊保育所へ統合する。
- ◆子宝祝金は制度改正を行い、支給範囲と支給額を拡大する事で子育て支援を充実する。
- ◆国民健康保険制度の改革については、平成30年度から青森県が財政運営の責任主体となる。安定的な財政運営や効率的な事業の確保といった、国保運営の中心的役割を担い、制度の安定化を図る。

◆六ヶ所村地域福祉計画の概要、六ヶ所村高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画の概要、六ヶ所村障がい者計画の概要、六ヶ所村障がい者福祉計画の概要については、国の指針が示されたことにより、それぞれの計画が策定された。

〔委員の意見〕

- ◎子宝祝金を支給された後の転出が懸念されるため、支給回数などを工夫すべきである。
- ◎国民健康保険の収納率は、現状の90%を維持するように努めるべきである。
- ◎高齢者が生き生きと活動できるスポーツ大会を開催するなど交流の場を提供すべきである。
- ◎福祉の各分野で計画を策定しているが、福祉活動の拠点とすべき場所も検討すべきである。



## 第1回ろっぶ水泳記録会

村民の夢の施設であった屋内温水プール。昨年6月に村議会をはじめ、多くの関係者が見守る中で、オープンして間もなく1年が経過しようとしています。

屋内温水プールの「ろっぶ」で、2月18日に第1回水泳記録会が開催されました。ろっぶはすべての年代で継続的な運動習慣の確立や体力の増強、年間を通じて気軽にスポーツに親しみ、健康と医療福祉の増進を図ることを目的として整備され、当日は、村内外から約150名の選手が参加し、小学校1年生から70歳代まで幅広い年齢層の方々が日頃の練習の成果を発揮し、個々の実力を確かめていました。

通年スポーツが可能な「ろっぶ」については、多くの方々が親しみ利用し、将来は世界に羽ばたくアスリートが生まれることを期待するところです。



## 6月定例会会期日程

日程	月日(曜日)	区分	会議内容
第1日目	5月25日(金)	本会議(午前10時)	開会、提出議案上程・説明、委員会付託
第2日目	5月26日(土)	休日休会	
第3日目	5月27日(日)	休日休会	
第4日目	5月28日(月)	休会	
第5日目	5月29日(火)	本会議(午前10時)	一般質問
第6日目	5月30日(水)	休会	常任委員会※1
第7日目	5月31日(木)	休会	常任委員会・特別委員会※1
第8日目	6月1日(金)	本会議(午前10時)	議案審議
第9日目	6月2日(土)	休日休会	
第10日目	6月3日(日)	休日休会	
第11日目	6月4日(月)	本会議(午前10時)	議案審議・委員長報告・閉会

※1 各委員会の開催時間等は決まり次第、HPでお知らせします。【議会の日程は変更されることがあります】



## 議会傍聴

議会を監視するのは「あなた」です。  
3月定例会の傍聴人は51人でした。  
あなたも議会の傍聴をしてみませんか。傍聴は村政を知る良い機会です。

定例会は、3月、6月、9月、12月の年4回開催されます。

臨時会は必要に応じて開催されます。  
詳しくは議会事務局72-2111  
(内線411, 412, 413)へお尋ねください。

## お詫びと訂正

ろっかしょ議会だより第43号の発行日に下記の誤りがございました。

(誤) 平成30年2月30日

(正) 平成30年2月28日

村民の皆様にご迷惑をお詫び申し上げます。ここに訂正いたします。

## 編集後記

議会だより44号をお届けします。  
新年度がはじまり、たくさんの方が  
社会人として新生活をスタートさせて  
います。

村議会も新年度から新たな取組として、議会本会議の一部の内容をロックTVで放送しております。現在の放送内容は議会に提出した議案についての提案理由と議員が村の行政全般にわたる執行状況や将来の方針などについて、報告や説明を求める一般質問の2つとなっておりますが、段階的に放送内容を充実したいと思っておりますのでよろしく願います。

本誌の表紙で触れましたが、4月1日に「六旬館」がオープンしました。来場者は2千人を超え、大盛況でした。また6月には「倉内コミュニティセンター」が開設する予定となっております。地域住民の学習、文化、スポーツ等、総合的な活動施設として役割を担うことを期待するところです。

結びになりますが、このたびの異動に伴い、議会事務局に職員1名が配属となりました。

昨年に引き続き、皆さんに読んでいただける広報づくりに努めてまいりますので、広報委員会および事務局を引き続き、よろしく願います。

六ヶ所村議会広報委員会

委員長 高田

副委員長 寺下

委員 高橋

委員 鳥橋

委員 山本

博

和

義文

義文

義文

光

光

光

光

光